

リレーエッセイ

ハードルを越えて

大迫 富美子さん ～『生きててよ』のバトンタッチ～



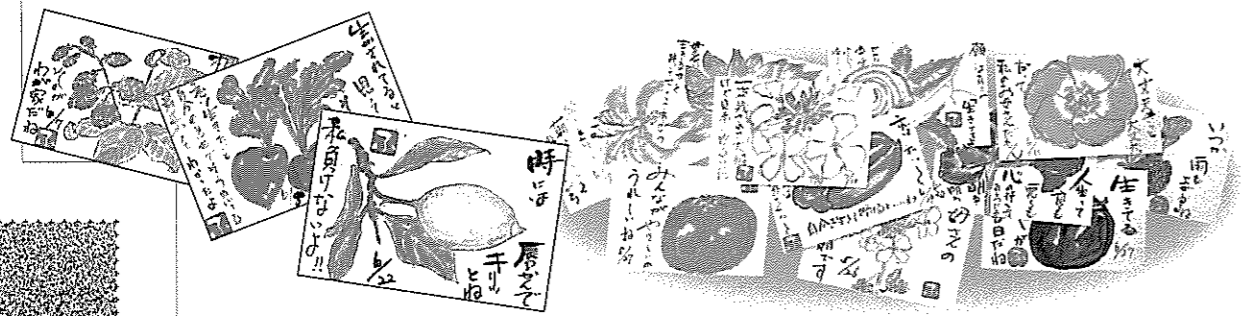
●大迫富美子さん
全国の車椅子用トイレの
情報サイト「ふくしのもり」
を運営。またホームページ
で趣味の絵手紙や料理の
情報も公開している。薩摩
郡さつま町在住、50歳。
「ふくしのもり」
<http://www4.synapse.ne.jp/topage/>

平成10年、私は脳出血の病に倒れて左半身麻痺の後遺症が残った。
現実の自分の状況が分かってくるとともに、生きていけば、必ず家族の足手まといになり、いずれはやっかい者になる日が来る…と母に八つ当たりの毎日。
二人暮らしの介護の重さを考えると、一番辛いはずの母が、いとも簡単に「あんたが生きてる、それだけで十分。お母さん、何でもしてあげる。泣いてもいい、怒ってもいい。だから生きててよ」いつもの笑顔で、そう言った。
お正月を病院で過ごすのに、他の付き添いの方の分もと三段重のお節を作ってきた屈託のない様子の母だ。



お母様と

家で介護を受け、8年の月日が流れ、平成18年5月、母が脳梗塞で倒れた。
母の見舞いに行く事もできない私は、元気を伝える手段として、趣味で始めた絵手紙を、一日一枚渡してもらった。
少し落ち着いた始めた2006年7月末、鹿児島県北部豪雨災害が私の町を襲った。我が家は大丈夫だったけど、兄と甥の家が床上浸水。目の前の橋の上を、川が流れる……。すべてが濁流に飲まれていった。あつという間の出来事だった。
みんなが避難してきて数日一緒に過ごす。足手まといになりたくないと思っていた私は、片手でみんなの食事を作り、少しだけ役に立てた。
暑い最中、不自由な思いで避難所で過ごされた方は大変だっただろう。
たくさんの応援を受け、町も少しずつ復活してきています。
家族やご近所の協力を得て、車椅子での生活を一人で過ごす日々も乗り切り、無事母の退院を迎えた。自分が障害者となった時、苦しくて辛くて泣いた日々、そこにはいつも母がいてくれた。今度は、私が母に『生きててよ』のバトンタッチをする番だ！ 高齢の母にとって、私の時以上にこれからの日々の生活は大変だろうと思うけど、二人で頑張ろう。
今、いじめの問題でたくさんの命が消えていく。みんなにも、きっと『生きててよ』と願ってくれる人がいるはず。だから生きてほしい、きっと笑える日が来るから……。



入院中のお母様へ毎日送った絵手紙。元気を伝える言葉と、庭で穫れた野菜や季節の植物などが描かれている。

中村さんによれば「障害者にとって息継ぎが難関なのだけど、できるよ」といふと、距離がとんと伸びますね。



山口トシ子さん(65)は二〇〇六年十月の第六回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」に鹿児島県代表として参加、肢体不自由者(40歳以上)の25m平泳ぎと50m背泳ぎで優勝した。いずれも大会新記録だった。「そんなビッチをあげて泳いだ感覚はないんですけど、運が良かったのか、背泳ぎで7秒更新。水のキャッチがよかつたのかなと思いかたですよ。」山口さんが所属する鹿児島メダカスイミングクラブのメンバーは、約三十名。毎週水曜日、ハートピアがこしま内のプールで水泳を楽しんでいる。メダカは、約二十年前、元県水泳連盟会長だった土元昭一郎さんが始めた水泳クラブ。現在病氣療養中のため県水泳連盟副会長の中村一良さんと平山輝明さんが指導している。

のじぎく兵庫大会 平泳ぎと背泳ぎで優勝 山口トシ子さん

「前に進むだけというのが、わたしのモットー 前に前に進んでいく」



ハートピアのプールで



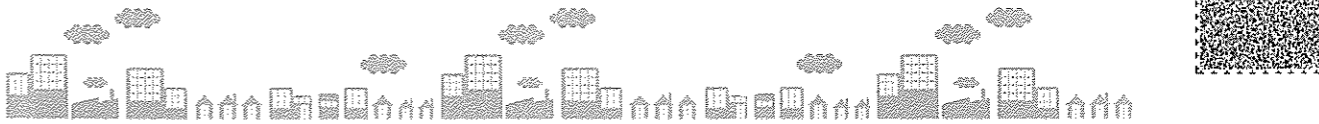
【右上】金メダリスト 山口トシ子さん 【下】メダカの仲間たち

メダカでは、水泳のほかに、コーチの平山輝明さんを中心に「卓球バレー」にも取り組んでいる。障害のある人や高齢者でも楽しめるゲームなので鹿児島でも普及させたいと対戦相手を募集中。

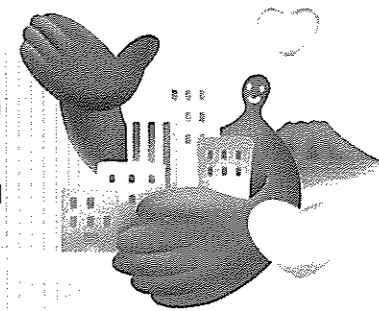
メダカでは、水泳のほかに、コーチの平山輝明さんを中心に「卓球バレー」にも取り組んでいる。障害のある人や高齢者でも楽しめるゲームなので鹿児島でも普及させたいと対戦相手を募集中。

山口さんは今から三十年ほど前、ギラン・バレー症候群という病気にかかり、たった三日で健康体から全身麻痺の体になった。一年半の入院生活のあと、懸命のリハビリと毎日の家事で、口フックラツチ杖があれば歩行できるまで回復した。水泳を始めたのはそのリハビリがきっかけだったという。今、山口さんはメダカのリーダー的存在だ。まわりには笑顔が絶えない。「水泳をやっているのが良かったと思うのは、泳ぎに誘った人がすごく明るくなってくれるんですよ。それがいちばん楽しみです。泳ぐ泳げないの問題じゃなくて、やっぱりスポーツっていいもんだなって思っていますよ。」メダカの仲間とは「遠慮なく良いことも悪いことも全部しゃべることができ、ほんとに発散できる」といふ。水泳では、今度はメドレーで大会に挑戦するのが目標という山口さんに、最後にバリアフリーについて尋ねると「言葉だけの車椅子トイレや車椅子用駐車スペース、スロープはやめてほしい。いざとなると使えないことが意外と多い」といふ。「相手の身になって考えて、本当に思いやりをもってつくってもらいたいと思います。」

水泳をしようと思った人が明るくなるのがうれしい



鹿児島県からの お知らせ

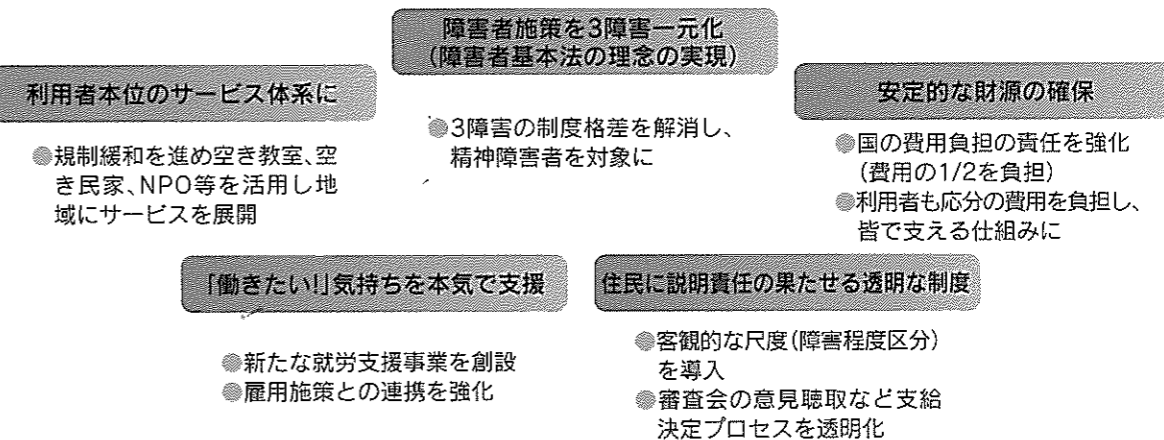


障害者自立支援法の円滑施行のため、
特別対策を実施します。

出典：厚生労働省 社会・援護局
障害保健福祉部 資料

障害者自立支援法のねらいは？

- 精神障害施策も含め、障害施策全体の一層の底上げを実現します。
(地域格差の是正、より多くの方々に障害サービスを)
- このことは、3障害を区別しないという障害者基本法の理念の実現でもあります。
- 具体的には、次の5つの柱で、改革を目指します。



なぜ特別対策を実施するの？

- 障害者自立支援法は、上記のとおり、サービス量の拡大を進めつつ、地域移行や就労支援の強化など、必要な改革を実施するものです。
- しかしながら、この改革は抜本的なものであり、多くの関係者からすぐには対応できないなどの様々な意見があります。
- このため、障害者自立支援法の新たな制度を利用して、関係者の方々が円滑に障害福祉サービスを実施し、利用できるよう、緊急的・経過的な対策を実施します。

具体的には...

平成20年度まで次の3つの柱からなる特別対策を実施します

- 1 利用者負担の更なる軽減措置
- 2 事業者に対する激変緩和措置
- 3 新法への移行等のため緊急的な経過措置

特別対策ってどんなことするの？

利用者負担の更なる軽減措置を実施します。

こんなご意見がありました。

- 在宅で家族と暮らしながら、通所施設に通う障害者は、家族に収入があって、軽減措置が受けられないことが多い。
→ 入所では軽減措置を受けている方が約68%なのに、在宅だと24%
- 工賃を上回る利用者負担がある。
→ 平均工賃は約15,000円
- 障害児を育てる家庭は、親も収入が少ない若い世帯が多く、負担感が強い。

- 1 在宅・通所利用の場合、上限額を4分の1にします。また、軽減対象範囲を拡大します。(障害児も同様)

| | 今まで | 特別対策 |
|----------------------|--|-------------------------|
| 低所得1* | 15,000円 (社会福祉法人軽減 7,500円) | 3,750円 |
| 低所得2* | 24,600円 (社会福祉法人軽減 12,300円) (通所のみ 7,500円) | 6,150円 (通所のみ 3,750円) |
| 一般* (所得割10万円**未満) | 37,200円 (社会福祉法人軽減対象外) | 9,300円 |

* 預貯金等ひらが500万円以下(家族と同居の場合は1,000万円以下)の場合
** 収入が概ね600万円以下相当

- 社福軽減と異なり、どの事業所を利用した場合でも、利用者の負担能力に応じて軽減措置が受けられます。事業者の方の持ち出しもなくなります。

→ 負担が多い住宅・障害児の世帯の負担を軽減します。

→ 平均工賃15,000円を下回る負担になります。

(事業費14.9万円の場合の負担額(食事を含む。)月22日利用し、食費1日650円とした場合)

- ・一般(所得割10万円未満)…… 29,200円/月 → 14,360円
- ・低所得1・2 …………… 12,560円/月 → 8,810円

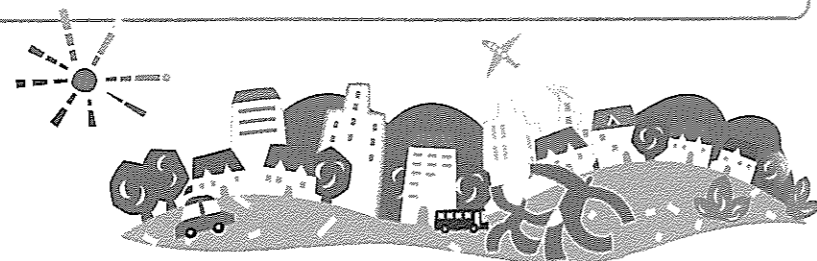
- 2 障害児については、入所施設を利用する場合、上限額を2分の1までとする軽減措置の対象を低所得10万円未満(収入約600万円未満相当)まで拡大します。

(事業費18.6万円の場合の負担額(食費含む。)食費58,000円/月とした場合(18歳未満))

- ・一般(所得割10万円未満)…… 45,000円/月 → 19,600円/月

- 3 入所施設利用の場合、工賃が年間28.8万円(これを越えた額の30%を含む。)まで手元に残るように徹底します。グループホーム・ケアホームでも同様の工賃控除を行います。

→ 「働く」ことについてより一層インセンティブが働くようにします。

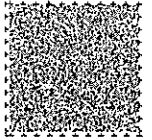


KAGOSHIMA

鹿児島島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれていきます。一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

バリアフリー—最前線

Barrier Free-Saizensen



ATMの触覚記号

- 十 **プラス** 預け入れ
- 一 **マイナス** 引き出し
- 二 **イコール** 残高照会
- **シカク** 通帳記帳

●鹿児島銀行は、視覚障害者対応のATM(現金自動預払機)を、三月までに県内外の一〇三か店に拡大した。鹿児島銀行の新ATMは、通常のATMとして使用できるのと同時に、イヤホンをついて右前面の差し込み口に接続することで、タッチパネル画面が視覚障害者用モードに変わる。タッチパネルの周囲には凸面の触覚記号が配置され、音声によってパネル操作をガイドする。このモードでは、預け入れ、引き出し、残高照会、通帳記帳ができる。触覚記号は点字ではないので最

触覚記号と音声で操作をガイドする新ATM

鹿児島銀行の視覚障害者対応ATM

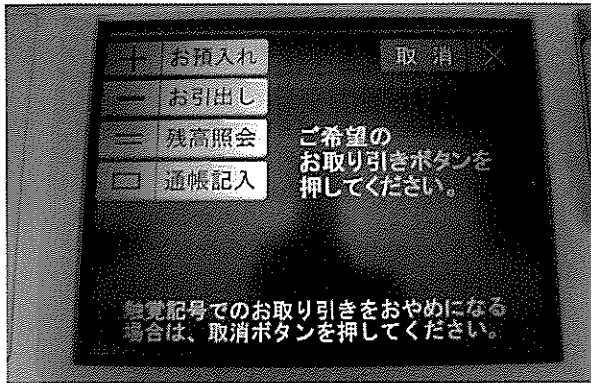
(鹿児島市)

FILE No.1

問い合わせ先
鹿児島銀行業務統括部
TEL 099-257-3111

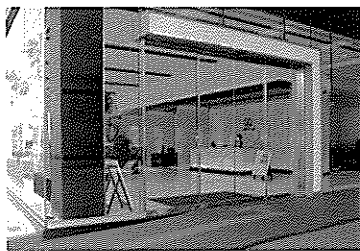


イヤホンからの音声で操作をガイドする



視覚障害者用モードに変わったタッチパネル画面

初は慣れが必要だが、簡単な記号なので使いやすい設計になっている。イヤホンは新ATM設置店で希望者に無償で配布している。同行では、新ATMになっている。同じように、設置店に来られたときには、行員にお気軽に声をかけて下さい」としている。●



すべりにくい点字ブロックと段差のないエントランス



スペースに余裕のあるショールーム



障害者用の駐車スペース



障害者にも利用しやすいトイレ



鹿児島県福祉のまちづくり条例 適合証

●鹿児島県福祉のまちづくり条例が交付されているレクサス鹿児島東開の店舗に入ると、スタッフ全員の気持ちよいい挨拶で出迎えられる。二〇〇五年にオープンしたレクサス鹿児島東開は、トヨタの高級車レクサスの専門店。レクサスの「L」の字をかたどったショールームには段差がなく、展示されている車も車椅子でも余裕をもって見ることができるようになっている。また、広いトイレは車椅子でもゆつ

たりと利用できる。レクサスでは、お客様の期待を超える「最高の販売・サービス」の提供をめざしているという。だから、バリアフリーは当たり前の前提と考え、ひとりひとりのスタッフがお客様の気持ちに立った「おもてなし」を心がけている。「心とまぜる雰囲気と自然で快い気配り」が心地よい店舗である。●

最高のおもてなしこそバリアフリーのあかし

レクサス 鹿児島東開

(鹿児島市)

FILE No.2

〒891-0115
住 所 鹿児島市東開町5番地3
T E L 099-263-5665
F A X 099-260-7667
ホームページ <http://lexus.jp>

